

共創の技法

テーマ 都市を分析し、デザインするための実測術

都市計画の専門教育を受けていない人を対象とした、ゼロからできる街路の実測術です。鶴岡市内の中心商店街を対象にして、街路の断面図、街路に面する商店の連続立面図を作成します。断面の実測には検測棒、巻尺、レーザー距離計、ハンドレベル等を用いますが、連続立面図作成には、写真を蟹の横這いで何度も撮影し、パソコン上でゆがみを修正して繋ぎます。また、図面は手描きです。

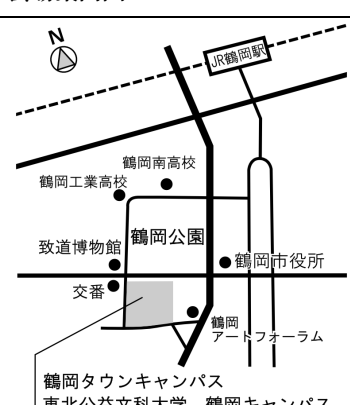
国による上からの都市計画から基礎自治体の都市計画へ、さらに市民が参加する協働のまちづくりへと移りつつある現在、目指す都市像も大きく変わりつつあります。高層ビルの建ち並ぶ未来都市から、歴史的建築を保存して町並み全体の美しさや、そこに育まれた住環境を守り、歴史と文化の魅力で再び人々をまちなかに呼び戻すことが課題となってきました。そのとき、こうしたまちづくりの主体は市民であり、建築や都市に関する基礎的素養が必要となってきます。この授業では、町並みの分析に必要な連続立面図と街路の断面図を自ら実測し、作図することを目標とします。また、連続立面図や断面図の役割、何がそこから読み取れるのか、どう活用できるのかについても解説します。

【講師】 温井 亨 氏 (東北公益文科大学教授)

開講日	内容
4月18日(木)	① オリエンテーション
4月25日(木)	② 連続立面図作成のための写真撮影方法 (講義と練習)
5月2日(木)	③ 連続立面図から読みと取れること、その活用 (講義)
5月9日(木)	④ 断面図から読み取れること、その活用 (講義)
5月16日(木)	⑤ 断面図の実測方法 (講義と練習)
5月23日(木)	⑥ 街路断面の実測：鶴岡市内中心商店街
5月30日(木)	⑦ パソコン上でのゆがみ補正
6月6日(木)	⑧ パソコン上でのゆがみ補正
6月13日(木)	⑨ パソコン上でのゆがみ補正
6月20日(木)	⑩ 断面図の作成
6月27日(木)	⑪ 断面図の作成
7月4日(木)	⑫ 連続立面図の作成 (製図)
7月11日(木)	⑬ 連続立面図の作成 (製図)
7月18日(木)	⑭ 連続立面図の作成 (製図)
7月25日(木)	⑮ まとめ

■会場：東北公益文科大学 鶴岡キャンパス (大学院)

■時間：18:00~19:30 (90分)

<p>◎お申込方法</p>	<p>●受講料 20,000円 (初回受講時に会場受付にて申し受けます) 単位認定をご希望の場合は、30,000円 (※) 別途指定するテキストをご準備いただきます。詳細は、お申込時にご連絡します。</p> <p>●定員 20名</p> <p>●申込方法 電話、FAX、電子メールのいずれかで下記事項をお知らせの上、お申し込みください。</p> <p>*講座名 *氏名(ふりがな) *住所 *電話番号 *所属(会社・学校名) *メールアドレス *単位認定希望の有無</p> <p>●申込締切 4月17日(水) (定員になり次第、締切らせていただきます)</p>	<p>●会場案内図</p> 
<p>◎お申込先</p>	<p>●東北公益文科大学大学院事務局 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1 TEL: 0235-29-0555 FAX: 0235-29-0556 E-Mail: gs@koeki-u.ac.jp URL: http://gs.koeki-u.ac.jp/</p>	

(※) 単位認定 本大学院学則に基づき、所定の評価方法により合格した方に対して、本大学院の単位を認定します。